

# 臨床研修制度のあり方等に関する検討会

## 1. 検討会の趣旨

より質の高い医師を養成する観点から、臨床研修制度及び関連する諸制度等のあり方について、有識者による検討を行う。

## 2. スケジュール

第1回( 9月 8日)

第2回(10月16日)

ヒアリング

- ・今井 浩三 (札幌医科大学長)
- ・富田 勝郎 (金沢大学病院長)
- ・河野 茂 (長崎大学医学部長)

第3回(11月18日)

ヒアリング

- ・下條 文武 (新潟大学長)
- ・福田 康一郎(共用試験実施評価機構副理事長)
- ・平出 敦 (京都大学医学教育推進センター教授)

第4回(12月17日)

ヒアリング

- ・小川 克弘 (むつ総合病院長)
  - ・木下 佳子 (NTT東日本関東病院副看護部長)
- 論点の整理と検討の方向性について(たたき台)

第5回(2月2日)

取りまとめに向けた議論

第6回(2月18日予定)

## 3. 構成員

- 飯沼 雅朗 (蒲郡深志病院長 社団法人日本医師会常任理事)
- 大熊 由紀子(国際医療福祉大学大学院教授)
- 小川 彰 (岩手医科大学学長)
- 小川 秀興 (学校法人順天堂理事長)
- 嘉山 孝正 (山形大学医学部長)
- 斉藤 英彦 (名古屋セントラル病院長)
- 高久 史磨 (自治医科大学学長)
- 辻本 好子 (NPOささえあい医療人権センターCOML理事長)
- 永井 雅巳 (徳島県立中央病院長)
- 西澤 寛敏 (特別医療法人恵和会西岡病院理事長)
- 能勢 隆之 (鳥取大学学長)
- 福井 次矢 (聖路加国際病院長)
- 武藤 徹一郎 (財団法人癌研究会理事、名誉院長)
- 矢崎 義雄 (独立行政法人国立病院機構理事長)
- 吉村 博邦 (社団法人地域医療振興協会顧問)

座長、副座長

# ～まとめの骨子(たたき台)概要～

平成21年2月2日第5回検討会資料

## 基本的な考え方

「医師としての人格の涵養、基本的な診療能力の修得」との理念の下、将来のキャリアへの円滑な接続が図られるように、研修医の希望等に応じて各病院の特色・工夫を活かした研修が可能となるよう、プログラムを弾力化する。

学部教育の改革の動向や専門医制度の検討の動向等を踏まえ、卒前・卒後の一貫した医師養成を目指し、臨床研修の質の向上を図る。

従来大学が担ってきた地域の医師派遣機能を再構築し、地域や診療科に必要な医師を確保する観点から、研修医の募集定員や研修病院の指定基準を見直すことにより、医師の地域偏在など医師不足への対応を図る。

## 見直しの方向性

### (1) プログラムの弾力化

- ・必修診療科は1年目における内科、救急にとどめ、各病院の判断で早い段階から将来のキャリアに応じた研修を行うことができるようにする
- ・研修2年目に、地域の第一線の病院、診療所で研修を行う地域医療研修を必修

### (2) 受入れ病院の募集定員や基準の見直し

- ・都道府県別の募集定員の上限の設定
- ・病院の受入定員について、大学等の医師派遣実績等を勘案
- ・研修プログラムを管理する病院について、水準・規模の面で基準を強化

### (3) 関連する制度等の見直し

- ・大学での共用試験の合格水準の標準化
- ・医学教育のカリキュラムの見直し
- ・医学生の医行為の取扱いや国家試験の内容の見直し
- ・大学病院の医師派遣機能の再構築